

医療環境を より快適に 癒やしのホスピタルアート

3階の遊びのスペース「のびのびひろば」



江南市飛高町の細野外科に小児科が新設され10日から、アートの力で病院などの医療環境をより快適な癒やしの空間にする「ホスピタルアート」あふれる診療所で診療が始まりました。

「みんなが集まる森のおうち」をコンセプトに名市大芸術工学部の協力を受け、階段を木の幹にみたて大きな木をイメージして全体をデザイン。1階入り口では土の中で

〈江南〉ほその外科小児科 — みんなが集まる森のおうち —

暮らすモグラが子どもたちを出迎え階ごとに色が変わるエレベーターの扉には気球が飛び、壁に広がる枝にはキノコの家やアリ、小鳥、ウサギなどの可愛い動物たち。3階の遊びのスペース「のびのびひろば」には、ロケットが飛ぶ宇宙が広がります。「病院に行くことが気持ち重くしないように」と願う小児科担当の細野治樹副院長はアートの制作にも参加。本棚に並ぶ

大きな木の デザイン



かわいい動物たちが遊ぶ階段

絵本の中には関心を持つきっかけになればと食育や性、体に関わる絵本なども用意しました。江南厚生病院で小児科医として7年勤めた細野副院長は「地域の診療所として、いろいろな症状や心配事に関して解決への入り口となれば、症状を見極め、適切な診断、治療に結びつける役割を果たしたい」と話しています。